

No.	推 薦 団 体	氏 名	市町村名	功 績 等
1	福島県テニス協会	はにゆう かずひこ 波入 一彦	郡山市	平成20年4月から令和4年3月までの長きにわたり県南テニス協会会長並びに福島県テニス協会副会長として福島県テニス協会の選手強化とテニスの普及に尽力した。県南テニス協会は郡山市、須賀川市、白河市、天栄村の県中・県南地区市町村のテニス協会を取りまとめ、各種大会を開催し、また福島県テニス協会主催大会の主管協会会長として尽力された。副会長退任後も福島県テニス協会顧問としてテニスの普及活動をしている。 ○副会長14年
2	福島県スケート連盟	あべ りょう 阿部 良	郡山市	福島県スケート連盟において、平成23年より理事長として、また、平成26年からは副会長としても役職の兼務を行い、現在も勤めている。 平成4年から平成7年開催のふくしま国体に向け競技役員・選手強化のために献身的な活動を行い、ふくしま国体スケート競技の成功に導いた。また、平成23年3月に発生した東日本大震災以降、理事長として毎年各地で開催される国体やインターハイ等の全国レベルの大会に競技役員として招聘され任務を果たした。特に平成25年1月に、福島県復興支援の目的で開催された東京都国体の福島開催では、実行委員及び競技役員として開催準備から競技運営まで多大な功績があった。 ○理事長11年(副会長兼務8年)
3	福島県ウエイトリフティング協会	あべ ゆきお 阿部 幸男	いわき市	昭和60年から平成6年まで強化部コーチとして尽力し、平成7年の国体では総合3位という成果をあげた。平成9年から平成26年まで17年間、県協会の理事長として競技役員の資質向上を図り、全国大会を運営できる組織作りを行った。 現在は、いわき市平地区体育協会で働き、競技の普及に務めている。また、株式会社久工業所の社会人チームのサポートを行うとともに競技の普及・発展に寄与している。 令和4年度より福島県ウエイトリフティング賛助会を設立し、選手育成・強化の一助を担っている。 以上、長きにわたり福島県ウエイトリフティング協会の役員として、競技力の向上及び役員の資質向上に尽力し、ウエイトリフティング王国福島の復活のため、協会組織の充実と競技普及・振興に献身的に務めた功績は顕著である。 ○副会長8年 理事長17年 副理事長8年
4	福島県銃剣道連盟	さとう とおる 佐藤 亨	福島市	・福島県銃剣道連盟の組織基盤の確立と多種にわたる事業を計画実行をしている。 ・常に会員の増勢を図り、自ら銃・短剣道を通じ武道精神に努める等、県内の会員人口1,000名前後を維持している。 ・第36回国体から第59回国体まで優勝2回、準優勝1回含む14回入賞。競技力は著しく向上、国体、全日本各種大会等、競技力は全国的に上位にある。 ・常に銃剣道に対して問題意識を持ち、福島県連を通じ、審判規則の改善等を中央団体に具申し、正しい銃剣道の普及に努めている。 ・地域スポーツ、特に福島、郡山自衛隊、平成15年に福島市銃剣道・短剣道スポーツ少年団及び平成30年に郡山銃剣道・短剣道クラブを発足・指導、地域スポーツの健全普及発展に貢献している。 ・普及が遅れている国際及び女子の講習会を全国に先駆けて福島県で行い、銃剣道振興発展に多大な貢献をしている。 ○副会長9年 理事長1年
5	福島県アーチェリー協会	すずき みつる 鈴木 満	会津若松市	県理事長として福島国体では成年女子の優勝を含む、総合第4位に貢献した。数々の強化選手を指導し、全日本選手権優勝や全日本フィールド選手権などの優勝者を輩出した。青少年の育成に尽力し、全日本小中学生インドアアーチェリー大会で3位入賞に導いた。 福島県のアーチェリー競技の創成期から普及や強化に努め、長年にわたって福島県アーチェリー協会の要職に就き、協会の運営に尽力した。また平成4年から平成13年までの10年間は全日本アーチェリー連盟の理事兼審判部長として全国の審判員の資質向上や本県審判員を東北大会や全国大会に派遣するなどの活躍をした。 第14回世界フィールドアーチェリー選手権大会では全日本アーチェリー連盟を代表して監督として参加し、オーストリアにて女子フリースタイル部門で5位、ペアボウスタイルで7位入賞させるなどの功績があった。 ○会長8年 理事長24年
6	福島県トライアスロン協会	もりさき としひろ 森崎 俊紘	福島市	福島県トライアスロン協会の発足において中心的な活動を行い、協会草創期における県内トライアスロン大会の開催に長年にわたり奔走する。当時、競技自体の認知度が得られていない段階において、県総合体育大会として阿武隈川トライアスロン大会を立ち上げ、各種カテゴリーにおける表彰者から全国大会、オリンピック選手を輩出するまでに成長させ、競技人口の拡大、普及に多大なる功績がある。日本トライアスロン連合の副会長を12年にわたり、務めた功績も大きい。 また、県スポーツ協会の理事を数年にわたり務め、競技の枠に捉われない広い視野による見識は県内スポーツ界においての人材育成、競技力向上に結び付いたものと考えられる。 ○副会長12年 理事長12年 ○県スポーツ協会理事10年 常務理事6年
7	福島県グラウンド・ゴルフ協会	しが ひでのぶ 志賀 英信	いわき市	いわき市グラウンド・ゴルフ協会副会長を16年、会長を5年、併せて福島県グラウンド・ゴルフ協会副会長を3年、会長を2年と、およそ20年にわたり、いわき市及び福島県グラウンド・ゴルフ協会における重要な役職を務め、団体の発展に尽力した。特に全国大会に積極的に参加を呼びかけ、福岡・佐賀・島根・大阪・山梨・埼玉・千葉・秋田・山形大会等に、10名～40名の選手を派遣するに至り、福島県チームの代表を務めた。 年齢的な問題による会員減少に歯止めをかけるために、県下の各クラブや愛好会に新入会者の増加について働きかけを積極的に行った。 ○会長2年 副会長3年 ○いわき市グラウンド・ゴルフ協会会長5年 副会長16年(この間、主に全国大会の福島県チーム代表の役職を務めた)
8	県南地域連合会	なかがみ とおる 中上 徹	白河市	・昭和38年白河モーニングを結成。 ・昭和52年白河野球連盟の役員となり、連盟の振興に尽力した。 ・平成20年から白河市体育協会の副会長を務め、この間、協会の法人化を進め、NPO法人白河市体育協会として独立させ、協会の自立に努めた。 ・平成18年に白河ゴルフ協会を設立し、現在も会長として、活躍している。 上記の通り、白河市体育協会及び白河野球連盟の発展に多大なる貢献をした。 ○副会長14年
9	会津地域連合会	ばば まさゆき 馬場 政之	昭和村	昭和村体育協会会長を11年、また昭和村剣友会の会長を務め、子ども達に剣道を教える傍ら、小学校の授業(昔遊びや昔語り等)にも協力し、文武両方の面から地域に貢献してきている。 ○会長11年
10	会津地域連合会	うない ちょうじ 宇内 長司	喜多方市	平成2年4月～平成14年3月まで熱塩加納村体育協会理事、平成14年4月～平成18年3月まで同協会副会長、平成18年4月～平成25年3月まで喜多方市熱塩加納町体育協会副会長、平成25年4月から令和3年3月まで同協会会長兼(公財)喜多方市体育協会理事として喜多方市のスポーツ振興の普及・発展に大きく貢献し、現在も喜多方市熱塩加納町体育協会理事として町民のスポーツ活動推進に積極的に取り組んでいる。 温厚誠実な人柄で人望も厚く、32年2カ月にわたり旧熱塩加納町体育協会・(公財)喜多方市体育協会の役員を歴任し、(公財)喜多方市体育協会や喜多方市熱塩加納町体育協会主催のスポーツイベント等企画運営に従事し、市民の健康維持増進に特段の理解を示し熱心に取り組んでいる。 ○会長8年 副会長11年
11	南会津地域連合会	わたなべ さかえ 渡部 栄	下郷町	平成30年度から令和3年度までの4年間、南会津地域連合会の副会長として南会津郡内のスポーツ活動に尽力した。また、下郷町体育協会の副会長6年(平成24年度～平成29年度)、会長4年(平成30年度～令和3年度)、計10年間役員として務め、在籍中、副会長職の際は、会長を補佐するとともに、積極的に各事業や会議等に参加しており、さらに会長職の際は、会員減少や新型コロナウイルス感染症による運動不足などの問題に取り組むとともに、体力向上については、自ら実践し模範となる行動を示してきた。南会津郡内のソフトボール大会においても、公認審判員として小学生から大人の方まで多数の大会において協力するなど本会の発展に多大なる貢献をした。 ○会長4年 副会長6年
12	相双地域連合会	あべ たかし 阿部 孝志	相馬市	相馬市体育協会の会長並びに副会長として、長年にわたり協会加盟団体の活動を支援し、競技力向上や施設整備に尽力するとともに、各種スポーツイベントの開催及び運営においては率先垂範な行動でリーダーシップを発揮した。 また、相馬市剣道連盟の会長を23年間、副会長を19年間務め、剣道の普及発展はもとより、相馬市が推進している「スポーツ観光の推進」や「生涯スポーツの振興」の進展にも多大な寄与をしており、その功績は顕著である。 ○会長5年 副会長8年